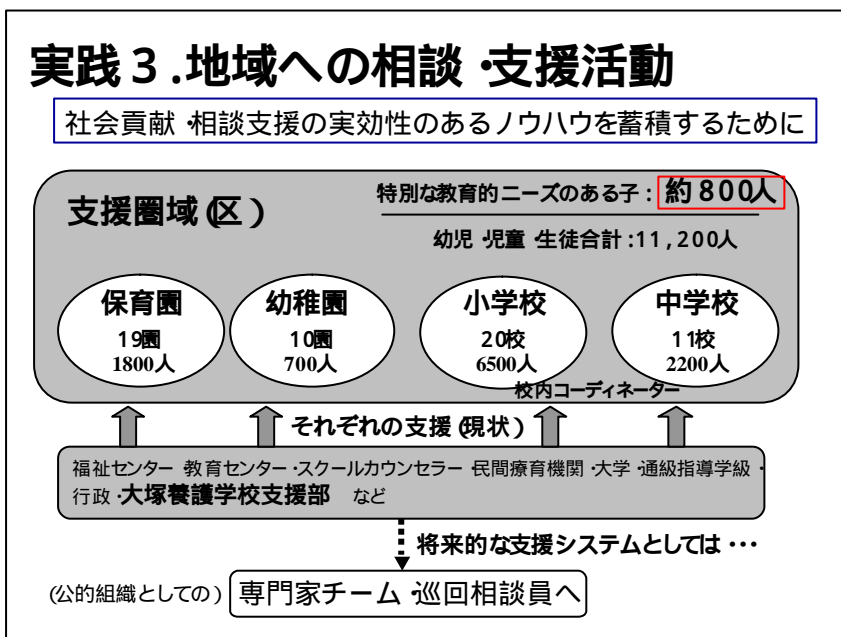


に相談を受けて支援をしていこうとした時に、サポートしてくれる人材が必要になるわけですね。そこで、地域の将来を支える人材を育成し、そのネットワークをつくる取り組みを行ってきました。ジョブコーチの養成研修は、NPO法人と私たちが共同で企画運営したものです。そのほかに、ボランティアの養成研修とか、NPOや学生との連携にも取り組んでいるところ

【3. 地域への相談・支援活動】

次に、本校の社会的な貢献と、相談支援のノウハウの蓄積とを目的とした活動について、報告させていただきます。これ(スライド5参照)が、私たちが行っている地域支援の内容です。

スライド5



支援部をスタートさせる時点で、実は、支援地域をどの範囲にするか大変悩みました。結局、本校のある文京区に限定しました。その理由というのは、行政や福祉、教育、労働などそれぞれの圏域が一致していて、ネットワークを構築しやすいと考えたからです。それから、支援部3名のスタッフで責任を持って支援するとなると、やはり自転車で回れる距離に限定する必要があったからです。

実際には、ここに書いてあるさまざまな機関が支援を行っているわけですし、現状では私たちもその一つにすぎないかもしれません。今は、早急に公的な支援システムが構築されるよう行政の方に働き掛けていると同時に、私たちが責任を持ってその一端を担えるように努力しているところです。

相談・支援の流れ~どのようなことに留意すべきか

次に相談・支援の流れですが(スライド6・7参照) 私たちが大切にしているのは、常に3名のスタッフの連携で相談・支援を行っていくということ。難しいケースに直面した時、1人では行き詰まってしまうようなことでも、3人の知恵を絞れば何とか打開策が見付かる場合があるかもしれません。そもそも、私たちの専門性というのはほんの小さなストライクゾーンでしかないんです。ところが、現実のケースはこちらのストライクゾーンを目掛けてボールを投げてきてくれるわけではありません。そこで、毎朝の連絡はもちろんのこと、たとえささいなことであっても常にケースに関する情報を交換し合うようにしております。どのケースからの電話に対しても、「今、担当者がいないので分かりません」というような返事だけはしないように努めております。中には、これまで相談を求めても“たらい回し”にされた経験を持つ